

認定NPO法人カタリバ及び公益財団法人日本財団との 不登校児童生徒への支援に関する包括連携協定について

不登校児童生徒の支援に取り組むカタリバと日本財団が協働で開始する新たな実証事業「不登校政策ラボ」に三次市が採択され、令和7年10月2日にカタリバおよび日本財団と連携協定を締結することになりました。

この「不登校政策ラボ」において、カタリバの専門的な知見と伴走支援を得ながら、不登校支援に関する政策の立案や実践的な取り組みを推進し、不登校児童生徒が安心して学び続けられる環境づくりを一層強化し、地域全体での包括的な支援体制の構築をめざしていきます。

【事業概要】

1. 目的

誰一人取り残されない学びの保障の実現に向けて、不登校支援政策の立案・推進

- ① 不登校支援に関する政策等立案
- ② 学校内外の学びの場づくり促進
- ③ 行政による保護者向け施策推進
- ④ 質の向上のための職員等研修

2. 実施期間 最大3年間（令和10年3月31日まで）

3. 費用 人件費を含む諸経費の三次市負担はなし

4. 方法 カタリバ担当スタッフが駐在し、本市の不登校関連政策について伴走支援

■認定特定非営利活動法人カタリバ

どんな環境に生まれ育った10代も、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会をめざし、2001年から活動する教育NPO。高校への出張授業プログラムから始まり、2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいる。

■公益財団法人日本財団

1962年、日本最大規模の財団として創立以来、人種・国境を越えて、子ども・障害者・災害・海洋・人道支援など、幅広い分野の活動をボートレースの売上金からの交付金を財源として推進している。